

# 令和6年度 取組目標

## 1 校務分掌

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法
教務	①校務支援システムの活用	・校務支援システムの運用をよりスムーズに行い、効果的な活用ができるよう、各種証明書類の発行等も含めマニュアル整備などを行い、職員をサポートを行う。
	②読書活動の推進	・「朝の読書」活動を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。
	③積極的な学校行事等の情報提供	・学校行事や式典、表彰等について、速やかに報道提供を行う。 ・ICTの積極的な活用を目指す。 ・ホームページを活用した情報発信を充実させる。 ・メール配信を積極的に活用し、必要な情報を家庭に迅速に伝える。
	④一人一人の教員の授業のスキルアップを図る。	・ICT教材活用実践授業や授業参観を行う。 ・年2回授業評価を行い、次年度への課題発見および解決等につなげる。
	⑤生徒主体の授業の実践	・教材等や授業展開を工夫することによって、生徒に関心を持たせ、活発かつ円滑な生徒主体の授業（アクティブラーニング）の実現を目指す。
進路指導	「希望進路の実現・進路意識の高揚」に向けて以下の項目について実践する。	
	①求人確保	・可能な範囲で企業訪問を行い、求人の確保に努める。
	②各種のガイダンスやHR活動(進路指導関係)の充実	・大学説明会、卒業生講話など各種のガイダンスを計画・実施する。また、生徒の実態にあわせて情報の質・量を精査し、本校生にとってより有効な情報提供をHR活動等を通じて行う。
	③入試・入社試験対策および面接指導の充実	・進学課外や適性検査対策問題集の学習を通して、入試・入社試験に向けての学力を高める。また、面接対策講座を実施し、その後、複数の教職員で面接練習を実施する。
生徒指導	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的な生活習慣に対する意識の徹底と確立を図る。	・朝の校門指導を継続して行い、挨拶・遅刻・服装についての指導を行う。教員も積極的に声かけを行う。
	②生徒が安全で安心して学べる学校であること。そして、地域の人々からも信頼される学校であるように努めていく。	・いじめや盗難が発生しないように学年団・担任・教育相談部等と連携を図り、未然防止に努める。特にいじめに関しては初期対応に気を付けたい。
	③道徳教育を継続し、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちが育めるよう努めていく。	・各種講演会・安全教室を実施し、思いやりの心を育てることと、自己管理能力を向上させる。

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法
人権・同和教育	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢を養う。	・（生徒）人権・同和教育HRの教材・内容の充実に努める。先進校や他校の教材・指導案を参考にしながら、教材や内容の更新・充実に努める。人権だよりを発行して、人権意識を高める。
	②教職員の人権に関する知的理解を深めるとともに、人権感覚を養う。	・（教職員）研究会・現地研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。新転任者や経年経験者研修対象者への研修や、全員を対象とした定期的な研修の実施を行い、人権感覚の養成を図る。第三次取りまとめを参考にして、各教科の授業において人権教育的な視点を取り入れる。
	③保護者に対する啓発を積極的に行う。	・（保護者）人権だよりを通して、人権啓発を行う。PTA総会で人権講話を行う。研究会・研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。
特別活動	様々な学校行事（集団活動）、部活動を通じて、未来を支える健康・体力・コミュニケーション力を伸ばさせるとともに規範意識・礼節をわきまえた社会に貢献できる人材育成を図る。	・部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞 部活動での地域貢献活動や、各種大会で上位入賞できるよう指導する。
		・様々な行事に生徒一人ひとりが主体的に参加 体育祭や志度高祭、クラスマッチ・TSPミーティング等の学校行事において、工夫した企画・運営や、行事において全校生が一致団結・協力し、計画・運営・活動ができるよう指導・サポートする。
		・ボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成 ボランティア活動を積極的に推進し、自主的に参加する気持ちを養う。 各クラスにおいてのホームルーム活動時地域清掃活動の取り組み。 各部活動において、地域清掃やボランティアなどの地域貢献の取り組み。
保健・教育相談	生徒や職員の健康に配慮し、元気で活気のある学校づくりを目指す。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどの感染症の予防を継続していく。また、熱中症の予防にも努める。	・4～6月、生徒の定期健康診断を行う。 ・各学年において正しい知識を理解させ、関心と責任を持たせる。（講習会等の実施） ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの予防（検温、手洗い、うがい、手指消毒、喚気等） ・熱中症の予防注意喚起を行う。
	関係者間の連携を密にして、生徒・保護者および問題を持つ生徒に関わる教員のサポートを行う。	職員の体力・健康維持に努める。職員健康診断の実施 担任・生徒に関わりのある教職員・保護者・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー間の連携を密にして、学校内外の情報収集・共有に努め、連携してサポートを行う。
	相談しやすい雰囲気づくりを心がける。	教育相談便りを発行し、スクールカウンセラー来校の日程等を伝える。学校生活アンケートを実施し、見守りや面談が必要な生徒をピックアップする。
総務	①保護者（PTA）および地域、同窓会との円滑な関係を維持し、教育諸活動において多面的な協力を得られるよう発信する。	・関係各位に学校行事等の通知と積極的参加を呼びかける。
	②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱を意識し、公共物を大切に使用することや整頓することの意識を高揚・定着させる。	・清掃活動や係活動において、その意識を持たせる。

## 2 学科

学科名	実践目標	具体的な取組み方法
商業	専門高校としての特色を出し、社会人・学生として恥ずかしくない人材を育てる。	・ビジネスマナーの向上。
		・検定合格率の向上と高度資格の取得。
		・進学先や就職先の充実。
電子機械	自らの進路目標を設定し、積極的かつ体系的に検定・資格試験取得に取り組むことを通じて、技術・技能の向上と正しい職業観・人生観を育てる。 知識・技能の基礎・基本を確実に身につけ、卒業後は地域産業界の中心となり活躍できる、人材を育成する。	・科目間の横断的学習により、専門的知識・技能の基礎基本を充実させる。
		・検定・資格取得に自主的かつ積極的に取り組む。
		・ものづくりを通して、技術・技能の向上と、思考力・発想力を養う。
情報科学	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。	・各学年に応じた課題や実習にICT機器を活用して取り組ませ、生徒が主体的に取り組む姿勢を育成する。
		・基礎的、基本的な知識や技術・技能を習得させ、資格や検定等にチャレンジさせる。
		・就職・進学指導の充実。

## 3 学年団

学年団	実践目標	具体的な取組み方法
3 年 団	進路の実現	・基礎学力の充実をはかる。
		・的確な情報提供に努める。
		・面接指導を充実させる。
		・進路決定後の生活指導を充実させる。
2 年 団	①良好な人間関係の構築	・人を尊重し、思いやる心を育てる。
	②落ち着いたある学校生活	・挨拶・服装・清掃・時間厳守の徹底など規範意識を持たせる。
	③学力向上と進路実現への啓発	・検定取得等の高い目標を持ち、計画的に学習する態度を養う。また、新しいことにチャレンジするよう呼びかける。
1 年 団	①素直な心	・先生や友人、他からの評価を受け入れ自己を理解し改善に努める態度を養う。
	②事前行動	・前もって準備をしてゆとりを持って行動するように習慣づける。提出物等も期限内に内容も含めゆとりをもって提出するようにさせる。
	③あらゆる場面で何をやるか何のためにやるかどの様に取り組むかを自ら考えて主体となって行動する。	・進路目標を持ち、それを実現するために、何に取り組めば良いかを自ら考え調査したり、助言を求めたりして積極的、計画的に実行する力を身につけさせる。